



□ 古谷-堀の内あたり

堀の内という名称から環壕集落を思い浮かべるように、水路に囲まれた一角が年輪を感じさせる樹木とともに集落景観をつくりだしている。もともと古尾谷氏館を取り囲む堀であったということで、この堀は古入間川まで通じ、舟が城内に入出入りしたと伝えられている。この北側に土塁の一部が現存し、また道路もT字路や行き止まりなどが多い。善仲寺境内が本丸の跡とみられている。